

特集  
2023

## 研修実施計画 研修ガイド

- コラム「架線集材に目を向けて」
- 編集後記
- 人事異動

### 研修紹介

- ・ 木材安定供給(生産・販売)
- ・ 木材産業・木材利用  
(基礎知識・木質バイオマス利用)
- ・ 林道施設メンテナンス
- ・ 公共建築物等木材利用促進
- ・ 木材産業・木材利用(実践・輸出戦略)
- ・ 行政能力向上(後期)

### 令和4年度集合研修風景



開講式



集材架線研修(林業機械化センター)



グループワーク(森林整備事業研修)



現地実習  
(森林作業道作設指導者・監督者研修)



現地実習  
(森林立地・施業技術研修)



現地実習  
(治山(設計)2研修)



講義  
(林野庁新規採用者(一般職)研修)



# 研修ガイド2023

## 2023年度 研修計画の特長

2コースを新設し、本所61 & 林業機械化センター18の79コースを計画しました。

NEW

### 盛土規制法の実務1・2

地方自治体による盛土規制法の円滑・適正な運用を図るため、制度の概要のほか、基礎調査や区域指定、許可・検査、違反是正等に関する基礎的な知識及び技術を習得させ、盛土規制法に関する実務ができる者を育成します。

NEW

### 新任管理者

管理者としての責務について認識させるとともに、適切な部下のマネジメントや指導に必要な知識を習得させ、管理指導能力をもった者を育成します。

i

### オンライン研修の拡充

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、集合研修が実施できず、急遽、研修が中止、延期等研修の変更を余儀なくされ、研修生の皆様にはご迷惑をかけることが多かったところで。

令和5年度は当初計画から、オンライン研修を13コースとし、実習を伴う研修でも座学(講義)の部分はオンライン研修とするなどの工夫をしました。

- ★座学(講義)部分をオンライン研修としている研修
  - ・林道技術者育成(講義)
  - ・高性能林業機械(安全指導・前期)
  - ・公共建築物等木材利用促進
  - ・情報処理(森林情報の取得・利活用)



### 森林土木 (ICT活用)

昨年度の治山 (ICT活用) 研修の研修対象者に森林管理局・署等職員 (林道技術者育成研修を修了した者、あるいは林道技術者育成研修修了者と同等の知識を有する者) を加え、森林土木 (ICT活用) 研修と研修名、カリキュラム等を変更しました。

災害が激甚化・広域化する中、治山・林道事業の実務を担う技術者の技術力の向上を図るため、航空レーザ計測、合成開ロレーダ、無人航空機等を用いた計画策定の演習を通じ、治山・林道事業の計画をなお一層効率的に策定できる技術者を育成します。

## 森林技術総合研修所の6つの特色

1

### 時代のニーズに応える研修

森林技術総合研修所は、森林・林業・木材産業に関する唯一の国の研修機関です。2020年には現在地に移転して50周年、名称が「森林技術総合研修所」となって25周年を迎えました。今後とも時代のニーズを見据えながらより質の高い研修を提供し、高度な技術を駆使して諸課題の解決に当たる人材を育成します。

2

### 質の高い講師

第一線で活躍する大学・企業等の人材を、講師として全国から招聘しています。

先導的な研究を行う森林総合研究所の研究者や、各施策担当の林野本庁職員が講師を務めることで、最新情勢を踏まえた講義を実現しています。

3

### 基礎習得・継続研鑽をサポート

業務経験や習熟度を目安に【基礎～実務・実践レベル】の研修コースを設置することで、若手をはじめ、継続研鑽に努める中堅・ベテラン職員からも満足度等で高い評価を得ています。

森林総合監理士への継続教育支援を推進するため、森林総合監理士フォローアップ研修を実施しています。

4

### 市町村林務行政への技術的支援

地域に最も密着した行政機関である市町村職員の育成に力を入れています。

- ▶市町村林務担当者(基礎)
- ▶市町村林務担当者(地域林政アドバイザー)
- ▶森林経営管理制度の実務1・2

5

### 集合研修

集合研修だからこそできる「現地実習・演習・グループワーク」「講師との対話」「研修生同士のコミュニケーション」をデザインし、研修の効果を高めています。

さまざまな地域・年齢の研修生同士が宿舍生活を通じて、人的ネットワークを構築しています。

6

### 宿泊施設・食堂を完備

集中して研修に取り組み、研修生同士の交流が図られるよう、宿泊室・食堂・談話室などを併設しています。

また、館内の換気の徹底、宿泊室は当面の間1人1部屋を継続し、エアコン及び加湿器を個別に設置するなど快適な研修生活が送れるよう努めています。



# 令和5年度 研修実施計画



番号	研修の名称	主な内容	対象者	定員	実施時期	森林総合監理士 フォローアップ研修	備考
1	森林計画(計画策定)	森林計画制度の体系 各種森林計画の概要と意義及びその運用 森林計画作成(ゾーニング)演習	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員(業務担当経験年数がおおむね3年以下の者)等	40	7/25 ~ 7/28		
2	森林計画 (森林調査・森林情報管理)	森林計画の推進 森林情報の管理・活用 最新の森林調査の技術	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員(業務担当経験年数がおおむね2年以上の者)等	25	9/4 ~ 9/8		
3	森林立地・施業技術	森林の多面的機能発揮のための森林施業 立地環境と森林管理(土壌の調査手法を含む。) 目標林型に誘導するための森林施業	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員(業務担当経験年数がおおむね2年以上の者)、森林総合監理士等	25	9/25 ~ 9/29	●	山梨県
4	生物多様性保全	生物多様性をめぐる動き 森林生態系と生物多様性 生物の多様性を豊かにする森林管理	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員、森林総合監理士等	21	11/6 ~ 11/10	●	山梨県
5	山村振興・地方創生推進	山村と都市や企業等の連携 森林環境教育等の現状・課題と推進方策 地域資源を活用した地域づくり、企画立案実習	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員等	25	11/28 ~ 12/1		
6	特用林産	特用林産物に関する知識、生産技術 安全な特用林産物の供給 特用林産物を活用した地域振興の取組	地方公共団体職員等	20	11/13 ~ 11/17		山梨県
7	森林整備	森林整備事業の概要 林業イノベーションの推進等による新たな取組 先進的な造林事業体の経営と取組、継続的に利用できる路網整備	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員(初任者レベルの者)等	35	12/12 ~ 12/15		
8	林道技術者育成(講義)	林道の設計に関する知識・技術の概要 林道を設計するための基本的な現場実務 林道の維持管理に関する知識 施設災害復旧に関する知識・技術の概要 林道施設の点検・診断手法の概要、事業評価制度の概要	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員(業務担当経験年数がおおむね3年以下の者、又は通信研修(治山・林道)を修了した森林官等及び初任の森林管理署等治山・土木担当者)等	60	5/23 ~ 5/26		オンラインで実施 予定
9	林道技術者育成(実習) 1	林道の計画・調査・測量、設計に係る基本的な現場実務(実習・演習)	令和5年度林道技術者育成(講義)研修修了予定(見込み)者、令和4年度林道技術者育成(講義)研修修了者等	28	6/12 ~ 6/16		
10	林道技術者育成(実習) 2	林道の計画・調査・測量、設計に係る基本的な現場実務(実習・演習)	令和5年度林道技術者育成(講義)研修修了予定(見込み)者、令和4年度林道技術者育成(講義)研修修了者等	28	7/3 ~ 7/7		
11	林道技術者育成(実習) 3	林道の計画・調査・測量、設計に係る基本的な現場実務(実習・演習)	令和5年度林道技術者育成(講義)研修修了予定(見込み)者、令和4年度林道技術者育成(講義)研修修了者等	28	7/31 ~ 8/4		
12	林道路網計画 1	林道路網の計画 林道路網計画作成の技術的課題 路網計画に関する現地検討	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員(初任者レベルの者を除く。)、森林総合監理士等	25	9/11 ~ 9/15	●	
13	林道路網計画 2	林道路網の計画 林道路網計画作成の技術的課題 路網計画に関する現地検討	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員(初任者レベルの者を除く。)、森林総合監理士等	25	10/2 ~ 10/6	●	
14	林道施設メンテナンス	林道施設点検に関する知識・技術の概要 林道施設点検の現場実務	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員(業務担当経験年数がおおむね3年以上の者)等	27	7/18 ~ 7/21		
15	森林作業道作設 指導者・監督者	森林作業道の作設方法及び施工管理 路体構造調査、作設路線の評価	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員、森林総合監理士等	27	9/4 ~ 9/8	●	山梨県
16	治山(基礎) 1	治山事業の概要、治山事業の実務 調査・計画、地形判読等(総合演習)	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員(業務担当経験年数がおおむね3年以下の者、又は通信研修(治山・林道)を修了した森林官等及び初任の森林管理署等治山・林道担当者)等	30	5/15 ~ 5/19		山梨県
17	治山(基礎) 2	治山事業の概要、治山事業の実務 調査・計画、地形判読等(総合演習)	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員(業務担当経験年数がおおむね3年以下の者、又は通信研修(治山・林道)を修了した森林官等及び初任の森林管理署等治山・林道担当者)等	30	6/5 ~ 6/9		山梨県
18	治山(設計) 1	治山事業の概要 治山調査・測量・設計の実践、災害復旧	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員(業務担当経験年数がおおむね2年以上5年以下の者で、治山(基礎)研修を修了した者、又は治山(基礎)研修修了者と同等の知識を有する者)等	27	8/21 ~ 9/1		
19	治山(設計) 2	治山事業の概要 治山調査・測量・設計の実践、災害復旧	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員(業務担当経験年数がおおむね2年以上5年以下の者で、治山(基礎)研修を修了した者、又は治山(基礎)研修修了者と同等の知識を有する者)等	27	10/16 ~ 10/27		
20	治山(地すべり)	地すべり防止事業を取り巻く新たな動き 治山(地すべり関連)の先進的知識・技術 地すべり防止技術向上のための専門的技術 調査、計画、設計等の実務	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員(業務担当経験年数がおおむね3年以上の者)等	30	11/6 ~ 11/10		



# 令和5年度 研修実施計画



番号	研修の名称	主な内容	対象者	定員	実施時期	森林総合監理士 フォローアップ研修	備考
21	保安林及び林地開発許可 1	保安林制度について 保安林指定・解除及び指定施業要件変更の実務 林地開発許可制度について	地方公共団体職員(都道府県及び条例に基づく権限移譲を受けた市町村の職員)、森林管理局・署等職員(初任者レベルの者)等	84	6/13 ~ 6/16		オンラインで実施予定
22	保安林及び林地開発許可 2	保安林制度について 保安林指定・解除及び指定施業要件変更の実務 林地開発許可制度について	地方公共団体職員(都道府県及び条例に基づく権限移譲を受けた市町村の職員)、森林管理局・署等職員(初任者レベルの者)等	24	6/27 ~ 6/30		
23	盛土規制法の実務 1	盛土規制法の概要(基本方針含む)、基礎調査の実務(区域指定、既存盛土調査) 許可・検査の実務(技術的基準)、不法盛土への対処方策	地方公共団体職員及び森林管理局・署等職員	72	10/2 ~ 10/4		オンラインで実施予定
24	盛土規制法の実務 2	盛土規制法の概要(基本方針含む)、基礎調査の実務(区域指定、既存盛土調査) 許可・検査の実務(技術的基準)、不法盛土への対処方策	地方公共団体職員及び森林管理局・署等職員	72	10/4 ~ 10/6		オンラインで実施予定
25	森林保護管理(病虫害)	森林保護行政の現状と課題 森林病虫害の現状と防除対策	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員等	32	7/11 ~ 7/14		
26	森林保護管理(獣害)	野生鳥獣管理を巡る現状と課題、野生鳥獣の保護管理と森林施業シカの痕跡と被害、効果的なわな設置等の実習	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員、森林総合監理士等	30	10/10 ~ 10/13	●	
27	森林総合監理士育成(前期)	森林・林業・木材産業の現状、森林施業の方法 森林計画制度、路網整備、作業システム、林業ICT化の意義と手法 コミュニケーションとプレゼンテーション演習	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員、林業事業体職員等	90	5/9 ~ 5/12		オンラインで実施予定
28	森林総合監理士育成(後期) 1	森林施業の方法、森林施業演習 路網、伐採計画の作成演習 コミュニケーションとプレゼンテーション演習	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員、林業事業体職員(森林総合監理士育成(前期)研修を受講した者)等	25	9/12 ~ 9/15		北海道局
29	森林総合監理士育成(後期) 2	森林施業の方法、森林施業演習 路網、伐採計画の作成演習 コミュニケーションとプレゼンテーション演習	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員、林業事業体職員(森林総合監理士育成(前期)研修を受講した者)等	30	8/22 ~ 8/25		関東局
30	森林総合監理士育成(後期) 3	森林施業の方法、森林施業演習 路網、伐採計画の作成演習 コミュニケーションとプレゼンテーション演習	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員、林業事業体職員(森林総合監理士育成(前期)研修を受講した者)等	30	9/26 ~ 9/29		九州局
31	林業金融実務・税制	林業金融制度の意義と実際 林業税制の意義と実際	地方公共団体職員	24	7/18 ~ 7/21		
32	森林組合指導担当基礎	森林組合の現状と課題(森林組合法の解説を含む。) 森林組合の経営状況の見方、コンプライアンスの確立	都道府県の森林組合指導担当職員等	35	5/30 ~ 6/2		
33	森林作業システム	森林・林業施策、生産管理と生産性の向上 森林作業システム、森林情報の活用	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員、森林総合監理士等	20	8/29 ~ 9/1	●	
34	チェーンソー伐木造材(基礎) 1	伐木等の方法(伐倒練習機による伐木実習等) 健康障害を防止するための目立て、チェーンソーの構造とメンテナンス 災害事例及び関係法令、伐木等の業務に係る安全衛生特別教育(労働安全衛生規則第36条第8号)	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員等	12	6/26 ~ 6/30		林業機械化センター
35	チェーンソー伐木造材(基礎) 2	伐木等の方法(伐倒練習機による伐木実習等) 健康障害を防止するための目立て、チェーンソーの構造とメンテナンス 災害事例及び関係法令、伐木等の業務に係る安全衛生特別教育(労働安全衛生規則第36条第8号)	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員等	12	10/2 ~ 10/6		林業機械化センター
36	チェーンソー伐木造材(基礎) 3	伐木等の方法(伐倒練習機による伐木実習等) 健康障害を防止するための目立て、チェーンソーの構造とメンテナンス 災害事例及び関係法令、伐木等の業務に係る安全衛生特別教育(労働安全衛生規則第36条第8号)	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員等	12	11/13 ~ 11/17		林業機械化センター
37	チェーンソー伐木造材(スキルアップ)	伐木作業の原理・原則、チェーンソーの特徴と保守管理、健康管理 伐木等作業の特徴と作業の安全(伐倒練習機による伐木実習等) 災害事例及び関係法令、チェーンソーを用いて行う伐木等の業務従事者安全衛生教育(令和3年3月17日付け基発0317第2号)	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員等 (「伐木等の業務に係る安全衛生特別教育(労働安全衛生規則第36条第8号)」修了者)	12	6/19 ~ 6/23		林業機械化センター
38	チェーンソー伐木造材(安全指導)	伐木等作業の法整備の背景・経緯 伐木等作業の特徴と作業の安全(伐倒練習機による伐木実習等) 伐木等作業における安全指導の方法等	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員等 (「伐木等の業務に係る安全衛生特別教育(労働安全衛生規則第36条第8号)」修了者)	12	7/3 ~ 7/7		林業機械化センター
39	高性能林業機械(女性担当者)	高性能林業機械の特性、高性能林業機械の安全な作業方法 高性能林業機械の普及指導のポイント 高性能林業機械の現状と効率的な作業システム事例	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員等のうち女性職員	12	8/21 ~ 8/25		林業機械化センター
40	高性能林業機械(基礎) 1	高性能林業機械の特性 高性能林業機械の安全な作業方法 高性能林業機械の普及指導のポイント	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員、森林総合監理士等	12	9/4 ~ 9/8	●	林業機械化センター



# 令和5年度 研修実施計画



番号	研修の名称	主な内容	対象者	定員	実施時期	森林総合監理士 フォローアップ研修	備考
41	高性能林業機械(基礎) 2	高性能林業機械の特性 高性能林業機械の安全な作業方法 高性能林業機械の普及指導のポイント	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員、森林総合監理士等	12	9/25 ~ 9/29	●	林業機械化センター
42	高性能林業機械 (林業大学校等指導者)	高性能林業機械の安全かつ効率的な作業方法 高性能林業機械作業に係る指導のポイント 林業大学校等の指導事例等	林業大学校・林業高校の教職員等 (「車両系木材伐出機械等の運転の業務に係る安全衛生特別教育(労働安全衛生規則第36条第6号の2、第6号の3及び第7号の2)」修了者)	12	7/31 ~ 8/4		林業機械化センター
43	高性能林業機械 (安全指導・前期)(講義)	林業労働災害の現状と安全対策の取組状況 高性能林業機械作業における安全対策 車両系木材伐出機械等の運転の業務に係る安全衛生特別教育(労働安全衛生規則第36条第6号の2、第6号の3及び第7号の2)に係る学科教育	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員等(「令和5年度 高性能林業機械(安全指導・後期)(実習)研修」の受講予定者に限る。)	24	6/6 ~ 6/8		林業機械化センター オンラインで実施予定
44	高性能林業機械 (安全指導・後期)(実習)1	高性能林業機械の安全な操作方法 高性能林業機械作業における安全対策 車両系木材伐出機械等の運転の業務に係る安全衛生特別教育(労働安全衛生規則第36条第6号の2、第6号の3及び第7号の2)に係る実技教育	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員等(「令和5年度 高性能林業機械(安全指導・前期)(講義)研修」の修了者に限る。)	12	7/24 ~ 7/28		林業機械化センター
45	高性能林業機械 (安全指導・後期)(実習)2	高性能林業機械の安全な操作方法 高性能林業機械作業における安全対策 車両系木材伐出機械等の運転の業務に係る安全衛生特別教育(労働安全衛生規則第36条第6号の2、第6号の3及び第7号の2)に係る実技教育	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員等(「令和5年度 高性能林業機械(安全指導・前期)(講義)研修」の修了者に限る。)	12	8/28 ~ 9/1		林業機械化センター
46	高性能林業機械(生産性)	生産性の把握に関する基礎知識 生産性の把握、算出、評価	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員等	12	9/11 ~ 9/15		林業機械化センター
47	森林作業道(基礎)	車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)運転技能講習(労働安全衛生法施行令第20条第12号) 森林作業道作設に必要な知識及び技術 森林作業道に関する試験研究成果	地方公共団体職員等(「車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)運転技能講習(労働安全衛生法施行令第20条第12号)」修了者を除く。)	10	10/23 ~ 11/2		林業機械化センター
48	森林作業道(調査設計)	森林作業道の整備に必要な知識及び技術 森林作業道の調査設計に必要なポイント	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員等	15	7/10 ~ 7/14		林業機械化センター
49	森林作業道(作設指導)	森林作業道作設に必要な知識及び技術 森林作業道の作設指導に必要なポイント	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員等 (「車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)運転技能講習(労働安全衛生法施行令第20条第12号)」修了者相当)	12	10/16 ~ 10/20		林業機械化センター
50	集材架線	集材架線(エンドレスタイラー式)の架設・集材・撤去作業 ワイヤーロープの取扱い、集材架線の設計 機械集材装置の運転の業務に係る安全衛生特別教育(労働安全衛生規則第36条第7号)	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員、森林総合監理士等	15	5/23 ~ 6/2	●	林業機械化センター
51	林業機械体験	高性能林業機械及びチェーンソーの体験学習 林野行政の役割と林業技術者への期待	大学生(林業関係学会会員)等	20	8/7 ~ 8/9		林業機械化センター
52	木材産業・木材利用 (基礎・木質バイオマス利用)	木材産業・木材利用の現状と課題 木材の加工・流通の基礎知識、木造建築・住宅資材の基礎知識 木質バイオマスの多様な利用の現状と課題	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員(初任者レベルの者)等	35	11/13 ~ 11/17		
53	木材産業・木材利用 (実践・輸出戦略)	木材産業・木材利用の現状と課題 木材の加工・流通、住宅資材及び技術開発 木材利用の推進、木材輸出を巡る最近の情勢及び輸出促進の戦略	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員(初任者レベルの者を除く。)、森林総合監理士等	30	1/22 ~ 1/26	●	
54	木材産業・木材利用 (先進事例学習)	木材の加工・流通に関する動向 木材のカスケード利用、木材市場、CLTの製造工場・建築物 バイオマス発電施設	地方公共団体職員、森林管理局・署等職員、森林総合監理士等	28	10/16 ~ 10/20	●	岡山県
55	公共建築物等木材利用促進	建築基準法の解説・木造技術の最近の動き 中大規模木造における木質系材料の知識 木造建築物の構造設計の基礎	地方公共団体職員で公共建築物の構造設計及び発注等に係る者、民間の設計関係者	30	11/28 ~ 11/30 12/5 ~ 12/7		オンラインと集合のうちのオンライン オンラインと集合のうちの集合
56	市町村林務担当者(基礎)	市町村林務担当者に必要な森林・林業の基礎知識及び森林・林業施策 森林計画制度及び市町村森林整備計画の概要、森林経営計画の策定 森林境界明確化	市町村林務担当職員(初任者レベルの者)	47	6/19 ~ 6/23		
57	市町村林務担当者 (地域林政アドバイザー)	市町村に係る森林・林業施策 森林計画制度、森林法令、森林経営、森林整備 森林情報の活用、アドバイザー取組事例の紹介	地域における市町村林務行政のアドバイザーとなり得る者	54	8/7 ~ 8/10		地域林政アドバイザー活用推進要綱に定める林野庁が実施する研修
58	森林経営管理制度の実務 1	森林経営管理制度の概要、森林経営管理制度に係る市町村の事務 市町村が主体となった森林の経営管理の集積・集約事例 課題発表、意見交換	市町村林務担当職員等(地域林政アドバイザー等の市町村に雇用されて森林経営管理制度に係る業務に従事する者や都道府県職員を含む)	90	7/4 ~ 7/6		オンラインで実施予定
59	森林経営管理制度の実務 2	森林経営管理制度の概要、森林経営管理制度に係る市町村の事務 市町村が主体となった森林の経営管理の集積・集約事例 課題発表、意見交換	市町村林務担当職員等(地域林政アドバイザー等の市町村に雇用されて森林経営管理制度に係る業務に従事する者や都道府県職員を含む)	47	9/20 ~ 9/22		
60	総合職新採用	林野庁職員としての心構え 森林・林業・木材産業の現状 現場実務に必要な技術 公務員としての規範	令和5年度国家公務員総合職採用職員	17	4/17 ~ 4/21		



# 令和5年度 研修実施計画



番号	研修の名称	主な内容	対象者	定員	実施時期	森林総合監理士 フォローアップ研修	備考
61	一般職(大卒程度)新採用 1	林野庁職員としての心構え、森林・林業・木材産業の現状業務遂行に必要な能力、公務員としての規範	令和5年度国家公務員一般職(大卒程度)採用職員	44	2/6 ~ 2/8		
62	一般職(大卒程度)新採用 2	林野庁職員としての心構え、森林・林業・木材産業の現状業務遂行に必要な能力、公務員としての規範	令和5年度国家公務員一般職(大卒程度)採用職員	43	2/14 ~ 2/16		
63	一般職(高卒者)新採用	林野庁職員としての心構え、森林・林業・木材産業の現状業務遂行に必要な能力、公務員としての規範	令和5年度国家公務員一般職(高卒者)採用職員	41	2/20 ~ 2/22		
64	研修企画運営実務 (先進事例学習)	林業大学校等の企画運営、技術者育成の教育企画運営手法 学生募集・就職等学生指導実務	地方公共団体職員、林野庁・森林管理局・署等の研修実務・人材育成の担当者、林業大学校・林業高校の教職員等	30	10/24 ~ 10/27		岐阜県
65	持続可能な森林経営のための政策立案能力の強化	日本の森林・林業施策と国際動向、持続可能な森林経営の取組 森林資源モニタリング手法、参加型森林経営手法	海外の中央政府及び地方政府の森林経営・保全担当部局の行政官	12	10/30 ~ 11/30		
66	スマート林業普及教職員等育成	森林・林業等の現状(森林・林業等に関する普及教育を含む) スマート林業(林業イノベーション)概論 ICT等を活用した先進的技術の普及	林業高校・林業大学校の教職員、林業技術研修教育機関の職員等	30	8/7 ~ 8/8		オンラインで実施 予定
67	署長	国有林野及び地域の森林の管理経営 内部組織の管理能力の向上 外部対応能力の向上	森林管理署長の職(これと同等と認められる職を含む。)に初めて任用された職員	20	4/25 ~ 4/27		オンラインで実施 予定
68	新任管理者	管理者としての責務 内部組織の管理能力の向上	森林管理署等の新任の総括事務管理官、その他森林管理局が推薦する管理職員	50	5/30 ~ 6/1		オンラインで実施 予定
69	行政能力向上(前期)	森林・林業・木材産業施策の動向 森林・林業・木材産業行政における国有林の役割 コミュニケーション、プレゼンテーション技法等の演習、企画力演習	林野庁及び森林管理局・署等職員(森林官等の役付となるまでの期間において、林野庁本庁や現配置局と異なる局等での勤務を経験するよう計画的に人事配置された者)	14	5/22 ~ 5/26		
70	行政能力向上(後期)	森林・林業・木材産業施策の動向等 ファンリテーション、プレゼンテーション技法等の演習 業務成果(課題研究)発表	林野庁及び森林管理局・署等職員(森林官等の役付となるまでの期間において、林野庁本庁や現配置局と異なる局等での勤務を経験するよう計画的に人事配置された4年度目の者等)	11	1/29 ~ 2/2		
71	発注者網紀保持	入札制度、談合、経済法等 他省庁や地方公共団体における先進的取組事例研究 リスク管理とコンプライアンス	森林管理局・署等の契約発注担当職員等	28	1/16 ~ 1/18		
72	健康安全管理	健康安全管理体制の強化 健康安全指導能力の向上	森林管理局の安全衛生係長、局・署等の健康・安全衛生管理担当者、健康及び安全管理に関する実務的指導の担当職員(業務担当経験年数がおおむね2年以下の者)等	21	5/17 ~ 5/19		オンラインで実施 予定
73	民国連携推進	民有林施策の概要、国有林における民国連携の取組 生物多様性保全に配慮した管理経営及び森林被害対策 木材産業施策の課題と今後の展開方向、合意形成の技術	森林管理署等職員	21	1/16 ~ 1/19		
74	木材安定供給(生産・販売)	政策としての生産・販売事業 木材の加工・流通と販売 国有林材における安定供給等の取組	森林管理局・署等の収穫・生産・販売担当職員(業務担当経験年数がおおむね3年以下の者)等	21	7/10 ~ 7/14		
75	情報処理 (森林情報の取得・利活用)	ドローンの高度な利用 森林GISの高度な利用 森林情報の効果的な利活用	森林管理局・署職員	35	11/21 ~ 11/22 12/19 ~ 12/21		講義(オンライン)と実習のうちの講義 講義と実習のうちの 実習
76	国有林野管理等の実務	国有林野管理・処分業務の概要及び実務 国有林野の鑑定業務の実務等 国有林野の利活用業務の実務	森林管理局・署等職員(局鑑定官及び署の財産管理、計画処分、貸付担当職員等)	21	1/29 ~ 2/2		
77	森林土木(ICT活用)	治山・林道(災害対応)事業を取り巻く状況 森林土木(災害対応)の先進的知識、技術 災害対応・事業計画等の実務の習得	森林管理局・署等職員(治山(基礎)研修または林道技術者育成研修を修了した者、あるいは治山(基礎)研修または林道技術者育成研修修了者と同等の知識を有する者)等	21	5/8 ~ 5/12		
78	通信研修(国有林野管理等)	国有財産制度、国有林野管理に関する基礎知識、分収林制度に関する基礎知識、国有林野等貸付・使用等に関する基礎知識、森林空間総合利用に関する基礎知識、林野・土地の利活用に関する基礎知識	森林管理局・署等職員	40	6/1 ~ 2/29		
79	通信研修(治山・林道)	治山に関する基礎知識 林道に関する基礎知識	森林管理局・署等職員	50	6/1 ~ 2/29		

※研修の詳細は森林技術総合研修所WEBサイトに掲載しています。 <http://www.rinya.maff.go.jp/j/kensyuu/kensyu.html>



## 研修紹介

# 木材安定供給（生産・販売） 研修

- 教務指導官 新井田 和彦
- 研修企画官 浅浦 宏美  
平園 麻奈美

森林技術総合研修所では、国有林材を川下へ安定的に供給するため、木材産業の現状と課題、木材の加工・流通に関する知識及び低コストかつ効率的な素材生産を推進するための作業システム、森林作業道の選定等や請負現場での管理監督上の留意点等の実務的な知識及び技術を習得させ、市場の需要動向に即応した素材生産、販売を実行できる技術者の育成を目的として、林野庁職員に対する木材安定供給（生産・販売）研修を実施しました。

令和4年度の研修では、政策としての生産・販売事業、木材の加工・流通と販売、国有林材における安定供給等の取組についての講義・実習、見学を実施しました。なかでも「OWL（アウル：森林3次元計測システム）は実際に使ってみて非常に使いづらいと感じたが（刈払が必要、標本木調査（樹高測定）が必要等）、長い目で見て、改善点の洗い出し等に貢献するためにも積極的に使っていく必要があると思った」「林野庁としての今後の国有林材供給の方向性、コロナショックやウッドショックについての詳しい説明が分かりやすかった」との意見が得られました。

また、2日間の実習・見学を通じ、「昔と今の家の造りの違いから、求められる製品の変化が分かりやすかった」「エリートツリーを初めて実際に見て、初期成長のスピードに驚いた」「他局の作業現場を見る機

## 研修データ

実施時期	11月28日～12月2日（5日間）
研修生	11名（林野庁職員）

会はないため、良い勉強になった、小さなことを変えるだけでも生産性が大きく変わるという話が印象的だった」との意見もあったところです。

これらの科目により管理監督者の立場となっても留意すべき知識を得るとともに、研修生同士でのコミュニケーションにより、互いの知見を共有することができました。特に、素材生産事業における関連通知改正を受け、「よく聞かぬが内容の分からない用語（日報アプリ、新しい林業、複数年）について解説をもらえてよかった」との意見は、素材生産・販売事業を担う者にとって、技術力の向上を図ることができたと考えます。

今後も、普遍的な木材安定供給に資するため、林野庁担当職員の理解を深めるための研修を行っていくとしています。



現地見学（大規模プレカット工場）

## 研修紹介

# 木材産業・木材利用 （基礎知識・木質バイオマス利用） 研修

- 教務指導官 内藤 晴敬
- 研修企画官 後藤 美佐緒

本研修は、木材産業の振興と木材利用の実需拡大を図るため、木材の加工・流通、木造建築等に関する基礎知識及び木質バイオマスの多様な利用に関する知識を習得させ、地域の木材産業に係る課題等に対応するとともに地域の木材利用を推進できる者を育成することを目的として実施しました。

講義はまず木材産業の現状と課題、木質バイオマスの利用の動向と課題等の基礎的な内容から始まり、木材乾燥技術やバイオマス利用地域計画の策定等、一歩踏み込んだ専門的な分野に至るまで幅広く行いました。

研修3日目には神奈川県松田町の木質バイオマスボイラー、同県厚木市のプレカット工場を見学し、木質バイオマスボイラーについては松田町役場の渡辺善明係長から概要や経緯、導入に当たって苦慮した点など詳細な説明をいただき、気付きにくいポイントを明確に把握することができました。プレカット工場では神奈川県産材を多用して地産地消の理念を具現化しつつ、高い技術力による精緻な仕上げの様子を見学させていただき、ユーザーが求める住宅部材の高品質化や多様化、見える化の重要性を実感しました。

研修最終日には東京多摩地域で初めて建築された木造ZEB※（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）事務所を見学し、木材利用の推進とCO<sub>2</sub>固定を両立する取組についての知見を得るとともに、実際に施工したビル

## 研修データ

実施時期	12月5日～9日（5日間）
研修生	21名（都道府県職員、林野庁職員）

ダーの方から詳細な説明をいただき、研修生からは「実際に事務所の施工に携わった技術者の貴重な声を聴くことができて勉強になった」との感想が寄せられました。

このように本研修は座学と見学を効果的に組み合わせ、課題を的確に把握しつつ知見を拡げ、そして理想とする未来への構想やアプローチが可能となるような実践的なカリキュラムで構成しています。

本研修を受講した研修生の皆さんには、習得した知見や技術を各職場において存分に活かしていただき、地域における木材産業の発展、木質バイオマス資源のさらなる利用推進に取り組んでいただくことを期待します。

また、分かり易く丁寧かつ真剣に講義を行っていただきました講師の皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

※木造ZEB…ZEB（ゼブ）とはNet Zero Energy Buildingの略で、高断熱化、高効率な設備を導入することによって大幅な省エネルギー化を図りつつ、太陽光発電等の再生エネルギーを造り出して利用することにより、年間のエネルギー消費量の収支をゼロにする建物のことです。今回の見学先である（株）森のエネルギー研究所は、東京都多摩産の木材を多く利用した木造建築のZEBです。

## 研修紹介

### 林道施設メンテナンス研修

- 教務指導官 山田 徹
- 研修企画官 黒岩 知博

我が国では、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラが今後一斉に老朽化することが見込まれていることから、国土保全のための基盤も含めた都市や農山漁村を形成するあらゆる基盤を広く「インフラ」として捉え、これまで以上に戦略的に維持管理・更新等の取組を進めていくことが重要とされています。

林野庁では「緑の社会資本」としての役割を果たしている森林の整備及び保全を適切に進めていくための基盤として必要となる林道施設等について、適切な維持管理・更新等を進めつつ有効活用を図っていくこととしています。

こうした背景のもと本研修は、林道施設の点検・診断を担当する技術者の技術力向上を図り、現地実習等を通じて、林道施設点検実務の指導ができる技術者を育成することを目的としています。

令和4年度は、当初7月に実施予定をしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、時期を12月に変更し実施しました。

林道施設点検の講義と現地実習を主とした内容で3日間の日程で行いました。

林道施設の損傷程度の評価や対策区分の判定、健全性の評価等、現地実習を通じて学べる研修内容になっています。外部講師をお招きし、「施設点検のポイント・実務」を分かりやすく講義していただきました。

現地実習では、研修生はグループに分かれて、実際の林道橋梁施設を対象に調査帳票を作成しました。現地調査後、班毎にとりまとめ、それぞれの成果を発表し、講師からのアドバイスのもと意見交換を行いました。

#### 研修データ

実施時期	12月7日～9日（3日間）
研修生	9名（都道府県職員、林野庁職員等）

研修生からは、「橋梁の部材名や点検箇所を知ることができ、点検箇所の見方や事例写真が参考になった」「点検の実情を把握できて理解が深まった」などの感想がありました。研修生の現場での活躍を期待しているところです。

今後も参加した研修生がそれぞれの現場で実践できる内容の研修を計画し、森林整備に関わる施設等の適切な維持・管理に貢献していきたいと考えています。



林道橋梁の点検実習

## 研修紹介

### 公共建築物等木材利用促進研修

- 教務指導官 松本 信二
- 研修企画官 黒岩 知博

現在、住宅分野では、新設住宅着工戸数の約6割が木造となっている一方、非住宅分野での木造率は14%と低い現状にあります。

樹木が吸収した炭素を内部に長期間貯蔵し、製造時の二酸化炭素排出量の少ない木材の利用促進を図るため、平成22年に「公共建築物等における木材の利用促進に関する法律」が施行され、更に令和3年6月には、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に名称変更されたところです。

本研修では、中大規模木造建築物の設計に当たっての制度、木材や木質建材の特性等についての知識及び技術を習得し、中大規模木造建築物の構造設計の概念を理解する技術者等を育成する目的で実施しています。

講義は、大きく①建築基準法解説・木造技術の最近の動き、②木造建築物の構造設計の基礎（設計者向け演習、発注者向け現地視察を含む）、③中大規模木造における木質系材料の知識に分かれており、それぞれ、その分野の第一人者と呼べる講師陣から、実例を交えながら、内容の濃い5日間の研修を実施しました。

研修2日目には、設計者向けコースと発注者向けの2

#### 研修データ

実施時期	1月16日～20日（5日間）
研修生	10名（都道府県職員等）

つのグループに分かれて、前者は、中層木造建築のテキストを使った演習、後者は、木造建築物の施工事例や木質系材料の製造現場の見学を実施しました。

研修最終日には、東京都市大学名誉教授の大橋講師から、講義全体を通じた総括として、対話方式で研修生の疑問点等に答える形で講義を実施しました。

今後も、本研修を通じて、中大規模木造建築の設計や発注における技術者を育成し、建築分野における木材のより一層の利用促進が進むことを期待しています。



木質材料の製造現場（製材工場）見学

## 研修紹介

# 木材産業・木材利用 (実践・輸出戦略) 研修

- 教務指導官 岩田 清人
- 研修企画官 田村 忠浩

令和3年6月に閣議決定された森林・林業基本計画では、再造林等により森林の適正な管理を図りながら、林業・木材産業の成長産業化に取り組むことにより、社会経済生活の向上とカーボンニュートラルに寄与する「グリーン成長」を実現していくこととしています。

本研修は、林業・木材産業の成長産業化に向けて、それぞれの地域が抱える木材産業等に係る課題に対し、指導・解決できる者を育成することを目的として実施しました。

講義では、木材産業・木材利用推進政策の最新の動向、需要に応じた採材方法及び原木の安定供給に関する動き、川上から川下まで一体となった流通を形成する木材サプライチェーンマネジメントの取組、木材輸出を巡る最近の情勢や輸出促進戦略について学びました。

研修3日目は、茨城県つくば市の森林総合研究所に場所を移し、木質材料の防耐火技術、マイクロフィンガージョイント加工、木質バイオマスのマテリアル利用など木材利用促進のための最新技術に触れました。

研修4日目は、山梨県内の合板工場を訪ね、国産材を使用した合板加工の取組の現状と課題について

## 研修データ

実施時期	1月30日～2月3日(5日間)
研修生	17名 (都道府県職員、林野庁職員等)

学びました。

最終日は、ウッドショックの背景やウッドショックがもたらした日本の森林・林業・木材・住宅産業の課題等について、講師から解説をいただきました。

近年では、住宅分野や公共建築物だけでなく、民間建築物を含めた非住宅分野において木材利用の取組が行われており、品質・性能の確かな製品の供給、需要者のニーズに応じた原木の安定供給体制の構築が求められています。

受講した皆さんが地域の木材産業等が抱える課題に対応するに当たって、今回の研修で学んだことが活かされることを期待しています。



講義風景

## 研修紹介

# 行政能力向上(後期) 研修

- 教務指導官 藪 弘道
- 研修企画官 高橋 聡

本研修は、森林・林業行政に係る最新の動向を習得させるとともに、行政能力向上(前期)研修以降の業務成果をまとめ、発表させることにより、地域の森林・林業行政に貢献できる者を育成することを目的として実施しました。

本研修では、森林・林業施策の最新の動向から始まり、林野庁における人材育成、林業の成長産業化と川上から川下までの総合的な支援、キャリアパスの展望等の講義、ファシリテーションの講義・演習を行いました。このほか、研修生の最近の業務成果をまとめた課題研究発表・意見交換等も行いました。

各講義等について研修生からは「森林・林業の現状を幅広く知ることができた」「ファシリテーション等普段の会議等で意識していなかったので、これを機にスキルを磨いていきたい」などの意見がありました。

課題研究発表を終え「ある問題について、皆異なる視点から物事を見ており、各自の意見が非常に参考になった」「研修生が日頃から抱えている様々な問題や課題について共有できて勉強になった」「様々な目線で林野庁を見ていることが分かってよかった。今まで

## 研修データ

実施時期	2月13日～17日(5日間)
研修生	28名(林野庁職員等)

発表は苦手だったが、上手くなったと思う」などの意見がありました。

今回の研修を受講した研修生が、それぞれの職場において研修で学んだことを活かし、森林・林業行政に貢献することを期待しているところです。



グループ演習：発表

林業機械化センター（以下「センター」という）に研修に来られる受講生は、机上での知識は豊富で優秀な者が多い。しかし、残念なことに現場の作業はあまり行ったことがないような受講生も多く見られる。今回はセンターで実施している集材架線研修の宣伝も兼ねて、急傾斜地において活躍が期待される架線集材に関することを記していく。

架線集材の代表として必ず教本等に登場するのが、エンドスタイラー式と呼ばれる方式である。この方式の図面だけで頭の中で三次元化し、構造・張力・ラインの動きが読みとれる者は凄いと私は思う。実物を見たことはあるのだが、ラインを辿ろうとしても頭の中が混乱してしまう。近年、林業の現場では目にすることが少なくなったようだが、山地災害復旧等において搬入路の作設が困難な現場では、ケーブルクレーンと名を変えて資材の運搬に使用されることが多いので、見学する場合は作業に支障を来すことのない場所から見ることをお勧めする。

全体像に続いて個々の機械、構成資材を見ると、とにかく重量物が多いのが特徴である。センターにある架線集材関連の展示物の一部を写真で載せておく。エンドスタイラー式索張りの全体模型も展示してあるので図面と模型を併せながら各役割・動き等を理解していただきたい。

今後は、伐採地の林地条件や環境負荷を考慮した集材方法として、スイングヤーダやタワーヤーダ等の簡易架線集材の普及が鍵を握っているのではないかと思う。森林作業道を無理なく作設して搬出できる伐採地であれば問題ないことであるが、人工林が拡大した状況と同様に、伐採箇所も徐々に奥地に進み傾斜も急になってきており、森林作業道による搬出と併用利用が多くなるだろう。

また、林道対岸等の搬出においても架線集材の活躍に期待を寄せている。先柱等の資材の運搬も、人力に代わりドローンの性能が向上し、どこまで活用できるかで相当な労力の軽減と安全面の改善が達成されると考えられるので、大いに期待したいところである。

センターにおける架線集材研修では、ワイヤロープの取扱い等から架設・撤去、集材機の運転等の基礎的な実習も計画し、林業技術の継承のためにも重要な研修機関であると自負している。今後を担う若き指導者に是非、受講していただきたいと思っている。

（林業機械化センター所長 池田 修）



展示棟模型



集材機

### < 編集後記 >

令和4年度の研修を振り返ると、過去2か年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたと感じるところです。

政府の方針で、本年3月からマスク着用は個人の判断に委ねられることとなり、5月には感染症法上の5類感染症に位置付けられることとなっています。これらを受け、当研修所の感染症防止対策も見直すこととしています。

令和5年度の研修では、研修生同士が気兼ねなく意見交換、情報交換できることを望んでいます。そして、研修最終日には皆笑顔で満足して研修所を後にしていただければと考えています。



## 人事異動

### ■任期滿了<令和5年3月31日付け>

東 睦弘（総務課行政専門員）

### ■退職(出向)<令和5年3月31日付け>

（国研）森林研究・整備機構森林整備センター関東整備局静岡水源林整備事務所長 栗山 喬行（首席教務指導官）

### ■転出<令和5年4月1日付け>

林野庁国有林野部管理課企画官（共済組合担当） 山崎 敬介（総務課長）

林野庁林政部林政課付 新井田 和彦（教務指導官）

関東森林管理局天竜森林管理署長 岩田 清人（教務指導官）

林野庁森林整備部研究指導課森林除染技術専門官 牧野 みほ（技術研修課研修企画官）

北海道森林管理局網走中部森林管理署総括事務管理官 中西 誠（経営研修課実施係長）

関東森林管理局森林整備部森林整備課主任森林整備官（経営・森林育成・資源活用・土木・森林ふれあい・治山担当 埼玉森林管理事務所） 関谷 麻美（技術研修課実施係長）

近畿中国森林管理局兵庫森林管理署森林整備官（森林育成・森林ふれあい・土木担当） 宮里 有紀（総務課）

経営局金融調整課農林漁業信用基金班農業保証保険経理係長 小野 智子（総務課会計係長）

### ■転入<令和5年4月1日付け>

首席教務指導官 松浦 安剛（林野庁林政部林政課監査官）

教務指導官 田村 稔（林野庁国有林野部管理課課長補佐（共済組合給付班担当））

教務指導官 山田 雅人（林野庁国有林野部業務課課長補佐（路網整備班担当））

森林技術総合研修所行政専門員 中島 章文（中部森林管理局富山森林管理署長）

総務課 中川 隆之（九州森林管理局宮崎森林管理署都城支署）

総務課会計係長 中川 可愛（関東森林管理局東京神奈川森林管理署）

技術研修課研修企画官 山田 基洋（環境省自然環境局自然環境計画課課長補佐）

技術研修課実施係長 長谷部 文香（北海道森林管理局宗谷森林管理署森林官（利尻担当区））

経営研修課実施係長 吉坂 雅夫（環境省九州地方環境事務所野生生物課希少生物係長）



### ■内部異動<令和5年4月1日付け>

総務課長 藪 弘道（教務指導官）

総務課行政専門員 早川 雄司（技術研修課行政専門員）



FTINews | No. 99

林野庁 森林技術総合研修所

〒193-8570 東京都八王子市廿里町（とどりまち）1833-94

TEL | 042-661-7121(総務課)／-3560(教務指導官室)

-3565(技術研修課)／-3567(経営研修課)

URL | [https://www.rinya.maff.go.jp/j/kensyuu/kensyuu\\_zyo.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kensyuu/kensyuu_zyo.html)

林業機械化センター

〒378-0312 群馬県沼田市利根町根利1445

TEL | 0278-54-8332

URL | [https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikai/kikai\\_ka\\_senta.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikai/kikai_ka_senta.html)